

・環境特別広報大使活動報告

9月19日（水）に三重県の伊勢神宮内宮「参集殿」にて環境特別広報大使の柴咲コウさんが歌の奉納をいたしました。

奉納したのは『月のしずく』。演奏は和太鼓や三味線など和楽器による独自の世界観を醸し活躍する『AUN J クラシック・オーケストラ』が担当。優美な音楽と、内宮の神聖な雰囲気にも包まれた奉納となりました。

柴咲コウさんのメッセージ

「伊勢神宮にて私の歌を奉納させていただくことは大変名誉なことでした。伊勢神宮は多くの日本人にとって特別な神社であるとともに、私が興味を注ぐ環境に関しても、学ぶべきことが沢山ある場所です。式年遷宮に象徴されるサステナブルな空間で、古にまで感謝の想いを馳せ、心を込めて歌わせていただきました。」

伊勢神宮は伊勢志摩国立公園内に位置しており、20年ごとに古式に則って建て替えられることでも知られています。

伊勢志摩国立公園は、三重県中央部に位置する志摩半島とその周りに広がる国立公園です。伊勢市、鳥羽市、志摩市、南伊勢町にかけて、およそ6万haの広大な面積を占めています。

伊勢志摩国立公園は、おおよそ2つのエリアに分けられます。一つは、伊勢神宮と背後に広がる自然豊かな森林環境を中心とした内陸のエリア、もう一つは複雑な地形・地質及び小さな入り江と岬が無数に点在するリアス海岸に代表される海沿いのエリアです。

ほかの国立公園に比べると、民有地の割合が非常に高く（96%以上）、公園内の居住人口も非常に多いため、地域の方たちの生活、歴史、文化、風習などに深く触れることができるのが特徴で、美しい景観を誇るとともに人と自然の関わりを感じさせてくれる国立公園です。

悠久の歴史が刻む伊勢神宮、人々の営みと自然が織りなす里山里海を体験しに是非、伊勢志摩国立公園に足を運んでください。

